



ゆうこう と し がく よう た よ り 友好城市岳陽信息

沼津・岳陽友好都市提携 30 周年!! を記念して、沼津市の友好都市である中国湖南省岳陽市の様子を中心に、中国や岳陽についての新旧織り交ぜた情報を紹介するコーナーです。



沼津のみなさんこんにちは！大学の第二外国語で日本語を学んだ後、イギリスに留学していた姜天鈺(きょう てんぎよく)と申します。母は、平成 24 年度岳陽市教育研修生で岳陽市外国語学校英語教師の楊時良です。第六回の今回は、中国人にとって一年で一番大切な祝日である“春節（旧正月）”について、ご紹介します！

～ しゅんせつ 春節 って何？ 由来は？ ～

長い農耕文明発展の歴史の中で、中国人の祖先は、いわゆる“西暦”とは違う、月の満ち欠けの周期による暦に従い農業をし、日常生活を送ってきました。それが、“農曆”です。この中国の伝統的暦“農曆”の起源は、殷商時期(紀元前 17 世紀)にまで遡るとも、それ以上とも言われており、今日の中国の伝統的な祭りや祝日の多くが、この“農曆”に則っています。

“春節”は、中国人にとって間違いなく最も重要な伝統的祝日で、“農曆”の第一日目、つまり新年の開始の日です。言い伝えによると、中国古代には“年”という怪獣がいて、この“年”の頭には角が生え、大変どう猛で、“除夕(大晦日)”の夜になると、深海から這い出てきて、家畜を丸呑みし、民を困らせていたそうです。そんな中、人々は、“年”が紅色(赤色)を怖がるという事を知り、家の門には赤色の春聯(対聯。めでたい文言を書いた紙)を貼り、屋内ではろうそくに火を灯し、屋外では爆竹を鳴らして怪獣を寄せ付けないようにしました。今でも、この怪獣“年”に関する春節の伝統的民俗習慣は代々受け継がれており、春節の時期になると、春聯を貼り、提灯に火を灯し、爆竹を鳴らします。そんなことから、春節のことを“年節”“新年”“大年”とも言うということです。また、春節の時期、“福”の字が書かれた赤い紙を上下ひっくり返して家のドアや壁に貼る習慣もあります。これは“福到(福が来る)”の意味を表します。



【春聯と提灯】



【除夕に作った自家製もち米団子】



【除夕の夜に打ち上げられた花火】

この重要な祝日春節の時期、中国人は家族団らんを大変重視し、毎年春節前後には、故郷を離れて仕事などをしてきた人々が一斉に帰省して家族親戚と一緒に春節を過ごします。そして春節が終わると、人々はまた仕事に戻るために故郷を離れていきます。そのため、春節時期には大変な交通渋滞や鉄道乗車率となり、それは“春運”とも呼ばれ、報道によると、この30年来の中国の春運は、のべ1億人から、2015年にはのべ37億人にまで膨れ上がり、アフリカ・ヨ

2016年2月 up 『1年で最大の盛り上がり！中国の新年である春節（旧正月）を紹介！』

ヨーロッパ・アメリカ・オセアニアの総人口が一斉に引っ越しをしたのと同様であるという事です。

去年の春節は、私はイギリスでの研修中で岳陽に戻って来ることができなかったのですが、今年1月末に無事学業を修了し帰国できたので、今年の春節は長く離れていた家族と一緒に賑やかな春節を送ることができ、大変うれしく思っています。

～ 日本と中国 “お正月” の 比較 ～

	日 本	中 国	豆 知 識
日 時	1月1日 元旦	旧暦1月1日 2016年は2月8日	除夕（大晦日）から1週間の大型連休！ 実家を離れていた人もみんな帰省します。
風 習	お飾り・鏡餅 お雑煮	春聯・提灯 餃子	“初一（元旦）”にはゴミを捨てません。 新年にゴミを掃き出すと破産するという、古くからの言い伝えに基づくものです。
	お年玉	ホンハオ 紅包	“紅包”とは赤色のぼち袋の事なのですが、 中身は大抵お金なので、使う場面や時期によって、 ご祝儀やお年玉などになります。
	初詣	バイニエン 拜年	熱心な人は毎月1日と15日にお寺にお参りに 行きますが、日本の様に、普段いかない人が 初詣だからと神社仏閣へ行く事は少ないです。 春節期間は、家族や親戚などの人にお祝いを 言って回る方が一般的です。
	紅白歌合戦	チュンジエリエンホワンワンファイ 春節聯歡晚会	春節聯歡晚会は、“春晚”とも言われ、1983 年から CCTV（中国中央電視台）というテレビ 局で毎年旧暦大晦日に放送される、歌ありマジ ックありコントありの大型娛樂番組です。
着物	唐服・チャイナ服	多くの人は普通の服ですが、新調した少し良 い服を着たり、おめでたい赤色を好んで着たり します。中国の伝統的“唐装（唐服）”を着る 人もいますが、冬なので、“旗袍（チャイナ服）” を着る女性は少ないです。	



【金鷲山公園前の新春花壇。
春節時期だけちょっと特別】



【2016年“春晚”の一場面。
歌・コント・マジック等色々】



【今年の春節に貰ったお年玉。
いくらだったかは内緒です！】

2016年2月 up 『1年で最大の盛り上がり！中国の新年である春節（旧正月）を紹介！』

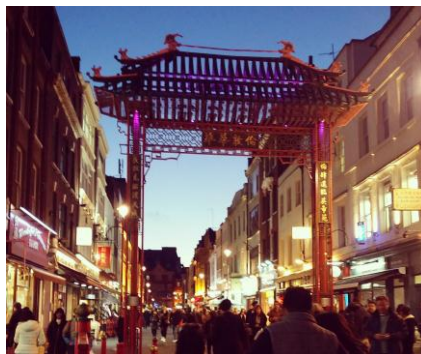
～ 日本や世界が過ごす元旦（西暦1月1日）。中国人は 何をしているの？ ～

中国では、12月31日から1月2日まで三連休になり、テレビのニュースでは世界各国の年明けの様子が報じられたり、中国国内でも外国人が集まるお店などはオールナイトでパーティをしたりすることもあるようです。ただし、1月3日からは通常勤務ですから、一般の中国人にとっては“普通の週末”の様な感覚です。

私は今年の1月1日は留学中のイギリスで過ごしました。クリスマスが近いこともあり、新年休暇はとても雰囲気があります。この時期のロンドンではどのショップもセールを開催し、街には人が溢れています。私は友人とデパート巡りなどをしてお気に入りの服を買ったり、新年のプレゼントを贈り合ったりしました。元旦は春節の厳かさとはまた別のものでしたが、ロンドンのチャイナタウンでは多くの中国人が集まり盛り上がっていました。私は折角の異国で迎える新年を盛大にお祝いしたいと思い、友人と一緒に広東料理レストランで“烧鹅（ガチョウの丸焼き）”^{シャオウアー}や点心を食べ、テレビでロンドンのテムズ川のニューイヤー花火を見ながらカウントダウンをして、いつもとは違った2016年の幕開けを友人と大盛り上がりで迎えました。



【ロンドンのクリスマス露店】



【元旦のロンドンチャイナタウン】



【一月末の卒業式当日の私】

～ 春節（年末年始） の 過ごし方 ～

★^{ラアバー}腊八（旧12月8日）

“^{ラア}腊”は古い言葉で12月のこと。つまり“^{ラアバーシエ}腊八节（節）”は12月8日の行事です。春節といえば餃子ですが、“腊八”にその時に使うお酢を作ります。作り方はとっても簡単！お気に入りの黒酢ににんにくを漬け込むだけ。他にも、“^{ラアバージョウ}腊八粥”を食べます。

★旧12月21日～27日

大掃除を行います。数千年もさかのぼる古い習慣と言われていて、塵や埃は“^{ジウウ}旧（古いもの）”で、掃除をすることによって“^{チージウウインシン}辞旧迎新（古いものを辞して新たなものを迎える）”準備をします。春節前の数日間は、家族みんなで協力して部屋の掃除をし、新しい年に幸運がもたらされることを祈ります。

★除夕（旧大晦日）

通常、会社はこの日から1週間の春節休暇に入り、商店もお休みする所が多いです。

家の門に“春聯”を貼ったり、“提灯”をかけたりします。夕飯は家族そろって餃子を食べ、麻雀などをして楽しむ家庭もあります。

夜8時になると、いよいよCCTVで“春節聯歡晚会（紅白歌合戦のような番組）”の開始です。毎年この番組から人気に火がつく芸人さんなどが出ることもあり、多くの中国人が楽しみにしている番組です。

夜12時前後になると、屋外では爆竹が鳴り始めます。最近都市部では環境保護のための規制もあり、一時期よりはだいぶ少なくなったように感じます。

2016年2月 up 『1年で最大の盛り上がり！中国の新年である春節（旧正月）を紹介！』

そして、子供にとってはお正月の一番の楽しみ。大人から、“紅包（赤いぽち袋）”を貰います。勿論中身は“压岁钱（お年玉）”です。古い言い伝えでは、子供は幽霊や妖怪の悪い影響を受けやすいとされるため、この“压岁钱（お年玉）”を使って排除し、健康で平和に新年を迎える手助けをされると言われています。

★春節・初一（旧正月1日）

結婚している場合、普通は夫の実家で過ごします。夫側の親戚が集まって豪華なご飯を食べたり、親しい友人や近所などに新年のあいさつをしたりします。

今年、我が家は新しい家に引っ越しをしたばかりなので、そのお祝いも兼ねて、父の兄弟家族など父方の親戚一同が我が家に集まり、とても賑やかな春節となりました。



【一緒に春節を過ごした親戚。後列最左が私、後列右から4番目が母】



【新しい我が家】

★初二（旧正月2日）

結婚している場合、通常は妻の実家に挨拶に行き過ごします。また、“財神（財産を司る神様）”にお参りしたりもします。

★初六（旧正月6日）

通常、春節休みはこの日までです。明日から会社は始まりますが、学校は旧正月16日までお休みです。伝統的なお正月の概念は“元宵節”までなので、まだまだ少し春節気分が抜けません。

★元宵節（旧正月15日）

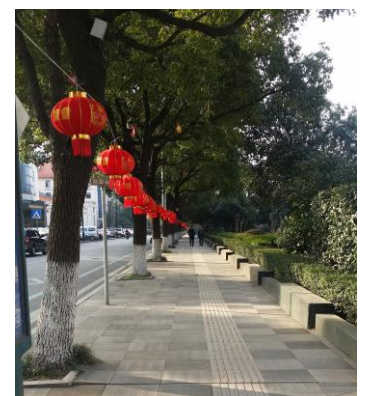
いわゆるランタンフェスティバルなどが行われる三連休の祝日です。“元宵”という暖かい白玉団子のようなものを家族で食べる習慣があります。



【春節用に彩られた街中】



【公園で凧揚げをする親子】



【歩道にも提灯】

友好都市30周年を記念して今年度全6回でお届けした『友好城市岳陽情報』も、今回で無事に最終回を迎えました。1年間ありがとうございました。

来年度からは益々パワーアップして、中国や岳陽についての新旧織り交ぜた情報をお届けしていく予定（不定期掲載）です！皆さんお楽しみに！